

令和6年度後期分授業料免除申請要項（家計急変）

○免除申請にあたっては、本要項を熟読し、十分理解した上で、事実に基づき記入すること。
○本学は、授業料を口座振替で徴収しています。まだ手続きが完了していない場合は、申請前に口座振替の手続きを行い、預金口座振替依頼書（大学提出用）を授業料免除申請書類提出時に同封（入学者はオリエンテーションで提出）すること。
提出期限を過ぎたものは一切受付しません。また、免除担当から期限を付して請求した不足書類を期限までに提出しない場合は選考から除外します。

1. 免除対象者（申請者）

- (1) 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者授業料の納期前6月以内（新入学者は入学前1年以内）において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け授業料の納付が困難と認められる場合
 - (2) (1)又は(2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める理由がある場合
 - (3) 日本学生支援機構が実施する給付型奨学金の対象者（2019年度以前入学者のみ）
- (注) 原級にとどまっている者、修業年限を超えた者は授業料の免除はしません。

2. 選考方法及び免除の種類

- (1) 授業料免除の選考は、富山大学教育・学生支援機構学生支援センターにおいて、富山大学授業料免除者選考基準に基づき、学力基準と家計基準のいずれにも該当する者（免除対象者）から選考し、免除の可否を通知します。
- (2) 免除許可者は、納付すべき授業料年額半期分の全額又は一部を免除します。

3. 申請の流れ

本学ウェブサイトより申請書類をダウンロード→ 必要な書類を揃える

- 期日厳守の上（角形2号の封筒に入れ）大学へ提出 → 申請受付
- 不備・不足書類の連絡および再提出 → 選考・決定 → 申請者に選考結果を通知
- （一部免除者・不許可者のみ）決定月の月末までに授業料を納入

※不足書類がある場合は連絡をすることがありますので、担当からの電話には必ず対応してください。

※判定結果が出るまで授業料は引落ししません。

※授業料免除の結果通知は、令和7年1月中旬頃を予定しています。

4. 提出期限

令和6年10月11日（金）必着 ※持参の場合は17：00まで

※申請書類は、角形2号の封筒に入れて提出すること。

※郵送の際は封筒の表に「授業料免除申請書類在中」と記入し、裏面には申請者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

5. 書類送付先（免除担当窓口への持参も認める）

・五福キャンパス 学生支援課授業料免除担当
〒930-8555 富山市五福 3190 TEL (076) 445-6087 FAX (076) 445-6092

6. 選考方法・基準について

選考方法は、学力基準、家計基準のいずれにも該当する者から、予算の範囲内で選考します。基準を満たしていても免除にならない場合があります。

必ず申請前に、学力基準および家計基準を満たしていることを確認すること。

7. 申請書類の記入方法等について

提出する書類の記入は、手書きの場合は消えないペンを使用してください。授業料免除願・家庭調書は、10月1日現在で作成することとし、家族の就職、退職等の異動を見込んで記入してください。

アルバイト・奨学金状況調は、令和5年1月2日以降にアルバイトを始めた人はアルバイト先で証明をもらってください。

【日本人学生の申請者全員が必ず提出する書類】

○同居、別居を問わず申請者と生計を一にする世帯全員の所得・課税証明書（就学者以外）

令和5年1月から12月までの収入金額及び控除額及び税額が明記されているものを提出してください。
収入金額・控除額・税額・扶養人数が記載されていないと再度取り直しになりますので、よく確認してください。

外国人留学生の場合

外国人留学生については、授業料免除申請に係る事情説明書、本人及び同居の家族の所得課税証明書又は非課税証明書を提出してください。

事情説明書は、必ず、標準修得単位数を指導教員に確認してもらい、所見・推薦書の記入を依頼してください。

所得課税証明書は、市役所で、自分と同居者の分を発行してもらい、提出してください。

アルバイトやRAをしている者は、源泉徴収票も提出してください。

所得関係書類に氏名が記載されている者が、10月1日現在で別居し独立して生計している場合は、世帯人数から除きますので、保険証のコピーと住民票（住所が確認できる書類）を提出してください。

家庭調書に記入した家族の状況に変更があった場合は、すぐに免除担当まで申し出てください。なお、保険証のコピーを提出する際は、被保険者等記号、番号等はあらかじめ、黒で塗りつぶしてください。

15歳以上で学生でない無職の者（専業主婦（夫）や高齢者、予備校生も含む）は、無職申出書が必要です。なお、無職申出書は、特別な理由がない限り代筆は認めていません。（帰省できなかつたためなどでは受理しません。）

給与の源泉徴収票や年金の源泉徴収票、確定申告書等を紛失した場合は、再発行の手続きをして提出してください。（大学に提出した書類はいかなる場合も返却・複製はしません。）

不足書類等を送付する場合は、必ず学籍番号・本人氏名を記載したメモを同封してください。

【就学者がいる場合】

国立学校の在学者は「在学状況等証明書」が必要です。公立・私立学校の在学者は、その学校の様式の「在学証明書」を提出してください。令和6年10月の在籍を確認したいので、10月1日以降に証明してもらったものを提出してください。（前期分申請時に提出済みの場合は、後期分の提出を省略できます。）

【長期療養者・家計支持者が単身赴任で別居している場合】

長期療養及び家計支持者が単身赴任で別居している場合の控除申請は任意です。控除を希望する場合は、申請書類の様式を富山大学のウェブサイトからダウンロードして使用してください。

8. その他

授業料免除申請を辞退する場合は、「辞退届」を記入の上、免除担当窓口に提出すること。

提出された書類に含まれる個人情報は、授業料免除者の選考及び調査並びに学生支援業務以外には使用しません。

申請書類等に虚偽の事実が判明した場合は申請無効とし、富山大学授業料免除及び徴収猶予に関する内規第 17 条により免除を取り消します。

授業料免除に関して連絡をすることがありますので、下記の授業料免除担当の連絡先を登録し、担当からの電話には必ず対応してください。連絡が取れない場合は、申請無効とします。

【授業料免除担当窓口】

五福キャンパス：学生支援課

TEL 076-445-6087

授業料免除願の記入例

令和 6 年 10 月 1 日

富 山 大 学 長 殿

本 人	平成 令和 6 年 4 月入学
	学 部 理工学 学 科 研究科 学 科 専攻 学 環 プログラム 教育部
	学籍番号 2 2 4 C ○ ○ ○ ○
学 資 負 担 者	住所(〒 930 - 0887) (下宿等) 富山市五福1区○-○-○ 富山ハイツ○号
	フリガナ 氏名 タテヤマ イチロウ (自署) 立山 一郎
	住所(〒 ○○○ - △△△△) 石川県金沢市○○町○丁目○番○号
	フリガナ 氏名 タテヤマ タロウ (自署) 立山 太郎
	本人との続柄 父

学生本人・学資負担者のそれぞれが記入すること。

私費外国人留学生および独立生計者は学資負担者欄に「本人」を記入すること。

授 業 料 免 除 願

下記により令和6年度後期分授業料の免除を受けたいので、
学資負担者連署の上お願いします。

記

I 金 267,900 円也

II 理 由 (具体的かつ詳細に記入すること)

授業料免除を申請するに至った家庭事情や説明を記入。
(100文字以上, 200文字以内)

学生本人が
記入すること。

授業料免除願は学生本人からの提出書類です。学資負担者の立場
で記入してある場合は受理せず, 提出書類を返却します。
※白紙の場合は書類不備とします。

家庭調書の記入例

家庭調書

① 所属 学部 研究科 / 学環 教育学部 学科 専攻 学籍番号

フリガナ 通学区分 自宅・自宅外

② 氏名 令和6年10月時点の現住所を記入 ※転居した場合は申し出ること

③ 住所 本人住所等 連絡先 賃負担者

TEL () -

大学認定(記入)欄	
世帯人員	人
独立生計者	有・無
生活保護世帯	有・無
非課税世帯	有・無
ひとり親	有・無
多子世帯	有・無
Jasso給付	有・無
区分	I・II・III・外・旧

④ 本親 令和6年10月時点の学年を記入

続柄	氏名	年齢	職業	所得種別	就職年月 (該当欄に○を記入)	給与収入 (年額)		給与以外の所得 (年額)	
						(年額)	(年額)	(年額)	(年額)
立山 一郎	22	立山大学 第1学年 (〇〇財団)奨学金	給与	給与奨学金	〇	456	360		
父 立山 太郎	50	自営業	〇〇〇店	営業	〇		1,484		
母 立山 花子	50	パート	(株)〇〇〇	給与	〇	1,000			
祖母 立山 春子	80	無職	老齢基礎厚生年金	年金			1,760		
× 就職のため別居 立山 ナツ	18	会社員							

私費外国人留学生は、本国在住の家族等について記入不要

アルバイトの年額および令和5年4月以降の給付奨学金の年額を記入

15歳以上の無職者(就学者を除く)は、「無職申出書」を提出

高校生以上は在学証明書を提出
ただし、国立学校在学者は「在学状況等証明書」を提出

令和5年1月以降、家族が受け取ったものを記入し、証明できる書類を提出
(例) 確定申告書、退職所得の源泉徴収票、保険金の支払通知書 など

最新の保護決定(変更)通知の写を提出

「母子・父子確認書」を提出

障害者手帳の写または障害者年金の通知書の写を提出

申請時において6ヶ月以上の療養期間が対象(控除申請は任意)

「り災証明書」を提出
事前に担当窓口にご相談すること

領収書の写しを添付
(控除申請は任意であり、1年分が限度)

参考資料や送付書を参照

続柄	氏名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	国立学校就学者のみ記入		申請者の配偶者に所得がある場合のみ記入		就学者控除
						前年度控除結果	授業料	勤務先名	給与収入	
弟	立山 二郎	19	国立公立私立 〇〇大学	2	自宅 自宅外	なし	535			

臨時所得 氏名(立山 春子) 本人との続柄(祖母) 支払金額(1,000 千円) 支払年月日 令和〇年11月1日

生活保護世帯 生活保護費支給証に記載の被保護者氏名() 世帯人員() 算入する算入しない

⑩ 主たる家計支持者無職・失業 無職・失業の年月 生活費の出所 ()

特別控除に関する事項

項目	内容	該当・非該当
⑪ 母子・父子世帯	□生別(平成・令和 年 月) □死別(平成・令和 年 月)(該当する□に✓をつけること。)	該当・非該当
⑫ 障害者	氏名() 本人との続柄() □心身障害 □原爆被爆 □心身障害 □原爆被爆	人
長期療養者	氏名() 本人との続柄() 療養期間(年 月~) 療養費 千円	千円
家計支持者別居	単身赴任等期間(年 月~) 特別に支出している経費 千円	千円
風水害等の災害	災害の内容() 千円	千円

⑭⑮は、控除申請用紙の提出がない場合、控除しません

○給与収入・給与以外の所得の記入要領

「給与収入」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与収入	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年1月1日以前から継続して勤務している場合 →源泉徴収票の「支払金額」 令和5年1月2日以降に就職・転職（再就職）した場合 →学生支援課が給与支払（見込）証明書（家族用）を確認し、記入します。 令和5年1月1日以降に退職し、無職の場合 →勤務先欄、給与金額とも記入不要
年金等	<ul style="list-style-type: none"> 源泉徴収票の「支払金額」もしくは最新の振込通知書に記載の年額
生活保護	<ul style="list-style-type: none"> 保護決定（変更）通知の額×12（年額を算出）
諸手当	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当→最新の手当額×12（年額を算出） 児童扶養手当、特別児童扶養手当 →最新の手当額×12（年額を算出） 失業給付金→基本手当日額×所定給付日数 傷病手当金→受給分合計額
「給与以外の所得」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与以外の所得	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年分確定申告書控の第1表のそれぞれの「所得金額」 令和6年度市民税・都道府県民税申告書のそれぞれの「所得金額」
所得時	<ul style="list-style-type: none"> 退職金 保険の一時金 養育費の年額 親戚等からの援助の年額

・家庭調書に全員を記入
 ・10月1日時点で「別生計」になる者は、健康保険証（写）と住民票を提出
 ※別生計とは、自分で生計を立て、扶養にも入っておらず、かつ自宅と別の住所に住んでいること。

・令和5年1月2日以降就職の場合は、給与支払（見込）証明書を提出
 ・退職の場合は、退職金等に関する申立書を提出

令和5年分源泉徴収票の例

令和5年分 給与所得の源泉徴収票

石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号

給与・賞与 3,000,000

令和5年1月1日～令和5年12月31日

石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号

令和5年分 公的年金等の源泉徴収票

住所または居所 氏名 生年月日

区分	支払金額	源泉徴収税額
法203条の3第1号適用分	円	円
法203条の3第2号適用分	円	円
法203条の3第3号適用分	円	円
法203条の3第4号適用分	1,000,000	円

年金の種類 本人 控除対象配偶者の有無等

特別障害者 特別障害者 特別障害者 特別障害者 有 無 老人控除対象配偶者の有無 有 無

控除対象扶養親族の数 本人以外の障害者の数 社会保険料の金額

特定 老人 その他 特別 その他 円

「家庭調書」(抜粋)

⑤家族及び所得

職業	勤務先等	所得種別	就職年月 (該当欄に○を記入)		給与収入 年金・生活保護費 諸手当含む (年額)	給与以外の所得 (年額)
			R5.1.1 以前	R5.1.2 以降		
会社員	(株)〇〇〇 〇〇〇年金	給与 年金	○		3000千円 1000	←千円

令和5年分確定申告書Bの例

令和5年分確定申告書Bの例

令和〇〇年分の所得税及び復興特別所得税の申告書B

第一表

収入等	給与	17,522,800
収入等	年金	2,028,000
収入等	一時所得	1,300,000
所得金額	合計	58,425,460

第二表

所得の内訳	収入金額	必要経費等	差引金額
給与	17,522,800		
年金	2,028,000		
一時所得	1,300,000	300,000	1,000,000

「家庭調書」(抜粋)

職業	勤務先等	所得種別	就職年月(該当欄に○を記入)	給与収入(年額)	給与以外の所得(年額)
	〇〇〇株式会社	給与	○	1752千円	千円
	〇〇〇年金	年金		2028	
	〇〇〇営業	営業			1484
	〇〇〇不動産	不動産			200

令和〇〇年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

所得から差し引かれる金額に関する事項

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類 収入金額

給与 〇〇株式会社 1,752,280

年金 〇〇厚生年金 2,028,000

一時 〇〇〇保険 1,300,000

所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額

一時 〇〇〇保険 1,300,000 300,000 1,000,000

職業事従者に関する事項

職業事従者の氏名	個人番号	性別	生年月日	従事月数・程度	従事内訳	専従給金(月給)
妻	※個人番号は複写されません	女	12月			1,200,000

住居税・事業税に関する事項

住居税

家族及び所得

家庭調書に全員を記入
10月1日時点で「別生計」になる者は、健康保険証(写)と住民票を提出

・受付印が押印されていること

・e-Taxにより申請した場合は受付番号が印字されたページも提出すること

・第三表以降もあれば提出

・源泉徴収票も併せて提出

アルバイト・奨学金状況調の記入例

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

アルバイト・奨学金状況調

記入日

令和 年 月 日

所 属	学 年	学 籍 番 号			
学部 研究科 / 学環 教育部					

学生氏名 _____

該当する□に✓をつけること。

1. アルバイト

アルバイトの状況

アルバイトをしている 記入日現在で継続している場合記入。

令和5年1月1日以前に開始→令和5年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。

令和5年1月2日以降に開始→下記にアルバイト先で証明を受けること。

富山大学でTAまたはRAを実施している →アルバイト先の証明は不要。

アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期 令和 5 年 5 月～

支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額) **38,000円** × 12ヶ月 = 年間支給(見込) 額 **456,000円**

この年額を家庭調書の「給与収入」欄に記入。

アルバイトの期間及び金額について証明します。 令和〇〇年 〇 月 〇 日

住所 富山県富山市〇〇町〇〇〇〇

社名 (株)〇〇〇〇 証明担当者 〇〇〇〇 (印)

TEL (〇〇〇)〇〇〇 - 〇〇〇〇 **必ず証明印をもらう。**

2. 令和5年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

<input checked="" type="checkbox"/> 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	<input checked="" type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	51,000円	R4年4月	R8年3月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input checked="" type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input checked="" type="checkbox"/> 給与	〇〇財団 (留学生のみ記入) 富山県国際交流 ・ 学習奨励費	30,000円	R4年4月	R8年3月
<input type="checkbox"/> 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を現在受給も申請もしていない (理由 _____)					

3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	30,000円	食 費	45,000円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	52,000円
アルバイト	38,000円	交通費	1,000円
奨学金(日本学生支援機構)	51,000円	学用品	5,000円
奨学金(〇〇財団)	30,000円	書籍代	2,000円
その他()	円	その他(医療費等)	44,000円
合 計	149,000円	合 計	149,000円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。

事情説明書の記入例

富山大学授業料免除添付書類

令和○年度○期分授業料免除申請にかかる事情説明書（私費外国人留学生用）					
<p>平成 ○ 年度入学 <input checked="" type="radio"/> 令和</p> <p>学部 ○ ○ 研究科/学環 ○ ○ 教育部</p> <p>学科 専攻 <input checked="" type="radio"/> プログラム</p> <p>学籍番号</p>	フリガナ	○○ ○○			
	アルファベット	○○○ ○○○			
	氏名	○ ○○			
	生年月日	○○○○年 ○月 ○○日生（○○歳）			
国 地 域	本人住所 〒 930 - 0887 富山市五福1区○-○ 富山ハイツ○○号室 TEL 076 (445) 1234 携帯 090 - 1234 - 5678				
令和○年1月1日時点で、日本に入国していましたか。 (一時帰国は除く)			<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ (いずれかを○で囲んでください)		
本国家族からの送金が困難な事情や日本へ入国時と現在で状況がどのように変わってきているかを具体的に記入してください。 免除願と別の内容で					
本国家族から送金が困難な事情					
父は定年になり年間○万円の年金生活、工場に勤務する母の年収は年間○万円であり、兄は専門学校へ通学しているので、親から私に送金することはできません。					
日本へ来た時と現在でどう状況が変わってきているか					
留学前、私は会社で働いて来日する経費を貯金していたのですが、来日1年目の東京での語学研修でほとんど使ってしまいました。奨学金とアルバイトが生活費の大部分ですが、時間的制約から、アルバイトはこれ以上できません。奨学金も2つもらい、これ以上は望めません。					
所見・推薦書	学力基準である標準修得単位数（申請する際に修得しておかなければならない単位数）を満たしていることを確認しましたので、以下のとおり推薦します。				
	学業への取り組み態度、人物評価、家計状況等を記入してください。				
	所見・推薦書の欄については、助言教員・指導教員に記入依頼してください。 (標準修得単位数も必ず確認してもらってください)				
所属学部等		職名		教員氏名	⑩

令和6年度後期分授業料免除等申請書類送付書

(入学者) 富山大学受験番号

(在学者) 富山大学学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

授業料免除等申請は、この「令和6年度後期分授業料免除等申請書類送付書」に学籍番号（入学者は受験番号）及び提出書類の確認欄に✓を記入し、この送付書と授業料免除関係書類等を、提出用封筒または角形A4号の封筒に入れて提出すること。

授 業 料 免 除 等 申 請 書 類 の 種 類		依頼先	確認欄
全申請者が提出	授業料免除願	/	
	家庭調書		
	アルバイト・奨学金状況調	アルバイト先	
	本人の所得課税証明書又は非課税証明書（コピー不可）	市区役所又は町村役場	
日本人学生の申請者	同居別居を問わず、申請者（学生）と生計を一にする世帯全員（就学者を除く）の所得課税証明書又は非課税証明書（コピー不可）※主婦、高齢者、無職者等も必要 令和5年1月から12月までの収入金額・控除額・税額が明記されているもの (所得がない場合は0円と記載されているもの)		市区役所又は町村役場
	外国人留学生の申請者	授業料免除申請にかかる事情説明書	指導教員
同居の家族の所得課税証明書又は非課税証明書（コピー不可）		市区役所又は町村役場	
申請者と同居の家族		・アルバイト状況調（私費外国人留学生家族用） ・源泉徴収票の写（令和5年分）	アルバイト先
申請者が返済の必要のない奨学金を受けている場合	令和5年度 給付型奨学金受給者	・決定通知書の写（返済の必要のない奨学金の給付月額、期間がわかるもの）	奨学金交付機関等
給与受給者 (パート・アルバイト含む)	令和5年1月1日以前から継続して勤務している場合	・源泉徴収票の写（令和5年分） ※複数の勤務先がある場合は、すべて提出すること	勤務先等
	令和5年1月2日以降に就職した場合	・源泉徴収票の写（令和5年分） ・給与支払（見込）証明書（家族用）	
	令和5年1月1日以降に退職し、無職の場合	・源泉徴収票の写（令和5年分） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合） ・無職申出書	
	令和5年1月1日以降に退職し、転職（再就職）した場合	・源泉徴収票の写（令和5年分）※前職と現職の両方 ・給与支払（見込）証明書（家族用） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合）	
年金等受給者	公的年金受給者 (国民、厚生、共済、恩給)	・源泉徴収票の写（令和5年分）又は ・最新振込金額がわかる通知書（写）	日本年金機構等
	遺族・障害年金受給者	・最新の改定通知書又は振込通知書の写	
生活保護費等受給者	・保護決定（変更）通知の写		
諸手当・給付金等受給者	児童手当受給者	・支給通知書又は受給金額がわかる証明書（写） (最新の金額がわかるもの)	市区役所又は町村役場
	児童扶養手当 特別児童扶養手当受給者		
	失業給付金等受給者	・雇用保険受給資格者証の写	ハローワーク
	育児休業給付金受給者	・支給通知書又は受給金額がわかる証明書（写） (最新の金額がわかるもの)	勤務先等
	傷病手当金	・傷病手当金振込通知書（受給分すべて）	健康保険組合等
給与以外の所得受給者 ・事業（営業等、農業） ・利子 ・配当 ・不動産 ・雑所得 ※個人年金、シルバー人材センターからの支給等 ・譲渡所得等	確定申告の申告者	・令和5年分 確定申告書控の第一表、二表、三表（ある場合のみ）及び添付書類の写（記載内容に別紙のとおりと記載がある場合は別紙も提出）	税務署
	市民税・都道府県民税の申告者	・令和6年度 市民税・都道府県民税申告書の写	市区役所又は町村役場
	臨時所得がある者	・生命・損害保険等の一時金、保険の満期金等の支払日及び金額がわかる書類（支払を受けた金額、支払年月日、払込済み保険料が記載されたもの）	保険会社等
	養育費、親戚等からの援助がある者	・申立書（A4サイズ）を作成	/
	その他		

※表面から続く

授業料免除等申請書類の種類			依頼先	確認欄
無職者のいる世帯 (就学者を除く)	15歳以上で無職の者	・無職申出書(原則無職の者本人が記入) ※専業主婦(夫)・予備校生含む		
母子・父子世帯	控除の有無に関係なく 母子・父子世帯全員	・母子・父子世帯確認書		
障害者のいる世帯	障害者全員	・障害者手帳の写(障害の級別、氏名の記載した部分)	都道府県等	
長期療養者のいる世帯 (申請時において6ヶ月以上の療養期間が対象。ただし、現在、療養を終えたものは除く)	病気等の療養者、 要介護認定・要支援認定者	・長期療養者にかかる控除申請書 ※提出が無い場合、控除しません。		
		医療機関等 への支払 ・6ヶ月以上の療養が確認できる医師の診断書(コピー不可) ・最近6ヶ月分の医療費の領収書の写	病院等	
	介護サービス の事業者 への支払 ・介護サービス計画(ケアプラン)の写 ・最近6ヶ月分の介護サービスに経常的に支出した自己負担額の領収書の写(食事代、雑費等を除く)	介護支援事業者等 介護サービスの事業提供者等		
	高額療養費、保険等の補填がある者	高額療養費、保険などで補填された金額がわかる書類	市区町村等	
主たる家計支持者が別居している世帯	別居による特別な支出がある者	・主たる家計支持者別居にかかる控除申請書 ※提出が無い場合、控除しません。		
		・最近6ヶ月分の住居費、光熱水費等の領収書の写 ・家計支持者の住民票 マイナンバーの記載のないもの ・勤務先の辞令(写)等 別居を強いられている理由のわかる書類	都道府県等 その他保管中のもの	
風水害等により被災した世帯	該当者全員	・り災(被災)証明書	市区町村・消防署	
	被害額	・領収書、請求書等	業者等	
	保険等で補填	・支払証明書	保険会社等	
	確定申告の申告者	・確定申告書A又はBのそれぞれ第一表と第二表の控除の写	税務署申告書類の写	

令和6年度後期における在学・在籍の証明が必要なため、10月15日(火)までに提出する書類

該当者のみ提出	高校生以上の就学者がいる場合 ※専修学校生を含む ※申請者(本人)分は不要	国立学校在学者	・在学状況等証明書 発行日が10月1日以降の証明書を提出すること	所属の国立学校
		公・私立学校在学者	・在学証明書【所属の公・私立学校指定の様式】 発行日が10月1日以降の証明書を提出すること	所属の公・私立学校
	10月に就職する者	・給与支払(見込)証明書(家族用)【本学の様式】	勤務先	
	兄弟姉妹等で令和5年1月以降に別居独立した人がいる場合	・健康保険証の写 ・住民票(コピー不可) ※家族と別の住所であることが確認できること	最新のもの 市区役所又は町村役場	

(3号様式)

令和 6 年 10 月 1 日

富 山 大 学 長 殿

本	平成 令和		年		月入学				
	学 部		研究科		学 科				
	学 環		教育部		専 攻 プログラム				
人	学籍番号								
	住所(〒 -) (下宿等)								
	フリガナ 氏名 (自署)								
学 資 負 担 者	住所(〒 -)								
	フリガナ 氏名 (自署)								
	本人との続柄								

授 業 料 免 除 願

下記により令和6年度後期分授業料の免除を受けたいので、
学資負担者連署の上お願いします。

記

I 金

円也

II 理 由 (具 体 的 か つ 詳 細 に 記 入 す る こ と)

家 庭 調 査 書

令和6年10月1日現在

※申請者（学生）本人が家計の状況をよく理解した上で、太枠の中を記入すること。

① 所属	学部 研究科 / 学環 教育部	学科(課程) 専攻 プログラム	学籍番号	
フリガナ	通学区分 自宅・自宅外			
② 氏名	過去の授業料免除状況			
③ 住所等 本人住所等 TEL () - () e-mail	学資負担者 連絡先 TEL () - ()	(〒 -)		項目
		免除結果等		
		R5年度後期	全免・半免・不課・/3・申請	
		R6年度前期	全免・半免・不課・/3・申請	

大学認定(記入)欄	
世帯人員	人
独立生計者	有・無
生活保護世帯	有・無
非課税世帯	有・無
ひとり親	有・無
多子世帯	有・無
Jasso給付	有・無
区分	I・II・III・外・旧

所得に関する事項

	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先等	所得種別	就職年月月 (該当欄に○を記入)		給与収入 年金・生活保護費・ 諸手当を含む (年 額)	給与以外の所得 (年 額)	給与収入 (年 額)	給与以外の所得 (年 額)
							R5.1.1 以前	R5.1.2 以降				
④ 本人				富山大学 第 学年	()奨学金	給与奨学金	—	—	—		千円	千円
⑤ 家族 就学者を除く家族	⑥ 父											
	母											

	続柄	氏名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	国立学校就学者のみ記入		授業料 (年額) 千円	勤務先名	申請者の配偶者に所得がある場合のみ記入		就学者 控 除
							前年度免除結果 前期	後期			給与収入 (年 額)	給与以外の所得 (年 額)	
⑦ 別居 就学者 に× 印				国立 公立 私立		自宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免	千円		千円	千円	
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					

⑧ 臨時所得	氏名()本人との続柄()支払金額()千円 退職金・保険金・その他()支払年月日 年 月 日	算入する 算入しない
⑨ 生活保護世帯	生活保護費支給証に記載の被保護者氏名()世帯人員()名 支給額(支給月額 円×12=年額支給額 千円)	千円
⑩ 主たる家計支持者無職・失業	無職・失業の年月 年 月 日 無職・失業の理由() 生活費の出所()	

特別控除に関する事項

⑪ 母子・父子世帯	<input type="checkbox"/> 生 別(平成・令和 年 月) <input type="checkbox"/> 死 別(平成・令和 年 月)(該当する□に✓をつけること。)	該当・非該当
⑫ 障害者	氏名() 本人との続柄() <input type="checkbox"/> 心身障害 <input type="checkbox"/> 原爆被爆 氏名() 本人との続柄() <input type="checkbox"/> 心身障害 <input type="checkbox"/> 原爆被爆	人
⑬ 長期療養者	氏名() 本人との続柄() 療養期間(年 月~) 療養費 千円	千円
	氏名() 本人との続柄() 療養期間(年 月~) 療養費 千円	
⑭ 家計支持者別居	単身赴任等期間(年 月~) 特別に支出している経費 千円	千円
⑮ 風水害等の災害	災害の内容(年 月被災) 被害額 千円	千円

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

アルバイト・奨学金状況調

学部・研究科・教育部名	学年	学 籍 番 号					
学 部 研究科/学環 教育部							

令和 年 月 日

学生氏名 _____

該当する□に✓をつけること。

1. アルバイト

アルバイトの状況 <input type="checkbox"/> アルバイトをしている <input type="checkbox"/> 令和5年1月1日以前に開始→令和5年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。 <input type="checkbox"/> 令和5年1月2日以降に開始→下記にアルバイト先で証明を受けること。 <input type="checkbox"/> 富山大学でTAまたはRAを実施している→アルバイト先の証明は不要。 <input type="checkbox"/> アルバイトをしていない
--

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期	年	月	～
支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額)	円×12ヶ月＝年間支給(見込)額		円
アルバイトの期間及び金額について証明します。			令和 年 月 日
住所		
社名	証明担当者 (印)
TEL	()	

2. 令和5年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

<input type="checkbox"/> 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与		円	年 月	年 月
		(留学生のみ記入) 富山県国際交流 ・ 学習奨励費	円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を現在受給も申請もしていない (理由 _____)					

3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	円	食 費	円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	円
アルバイト	円	交通費	円
奨学金 ()	円	学用品	円
奨学金 ()	円	書籍代	円
その他 ()	円	その他 ()	円
合 計	円	合 計	円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。

令和6年度後期分授業料免除申請にかかる事情説明書（私費外国人留学生用）

平成 令和	年度入学	フリガナ		
	学部 研究科/学環 教育部	学科 専攻 プログラム	アルファベット	
	学籍番号		氏名	
			生年月日	年 月 日生（ 歳）
国 地 域		本人住所 〒	—	
		TEL	（ ）	
		携帯	— —	
令和6年1月1日時点で、日本に入国していましたか。 （一時帰国は除く）		はい いいえ (いずれかを○で囲んでください)		
本国家族からの送金が困難な事情や日本へ入国時と現在で状況がどのように変わってきているかを具体的に記入してください。 免除願と別の内容で				
所見・ 推薦書	学力基準である標準修得単位数（申請する際に修得しておかなければならない単位数）を満たしていることを確認しましたので、以下のとおり推薦します。			
	学業への取り組み態度、人物評価、家計状況等を記入してください。			
所属学部等		職名	教員氏名	
			⑩	

所 属	学 年	学 籍 番 号							氏 名
学 部 研究科/学環 教育部									

この書類は私費外国人留学生が、同居する家族の証明のために使用します。

アルバイト状況調(私費外国人留学生家族用)

令和 年 月 日

家族氏名 _____

1.職業 (該当する口に✓をつけること。)

- 学生等(正規生・非正規生含む)→家庭調書に記入すること。
- アルバイトをしている
 - 令和5年1月1日以前に開始→令和5年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。
 - 令和5年1月2日以降に開始→下記にアルバイト先で証明を受けること。
- 無職

※アルバイト先の証明(複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。)

期 間	始期	年	月	～	
支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額)		円	X	12ヶ月=年間支給(見込)額	円
アルバイトの期間及び金額について証明します。					
令和 年 月 日					
住 所	_____				
社 名	_____				
証明担当者	_____ 印				
T E L	()	_____			

所属	学年	学籍番号	氏名
学部 研究科/学環 教育部			

給与支払（見込）証明書（家族用）

給与事務担当者 殿

就業者氏名

富山大学に在学する私の（続柄）（学生氏名）が授業料免除を申請するため必要ですので、下記の事項について証明くださるようお願いいたします。

記

該当する□に✓を付け必要事項を記入してください。

採用 年 月 日（この証明書は、令和5年1月2日以降の採用者に必要です。）

区分 常用 パート その他（ ）

年	月	総支給額	記入上の注意事項及び大学認定（記入）欄
給 与		円 ① (内 通勤手当 円)	給与について最近3ヶ月の支給額を記入してください。 採用1ヶ月に満たない場合は1ヶ月フルに就業する場合の支給見込額を記入してください。 平均支給月額 (①+②+③) ÷ 3 = _____ 円 ④ (大学で記入します)
		円 ② (内 通勤手当 円)	
		円 ③ (内 通勤手当 円)	
賞 与	<input type="checkbox"/> 有	年間支給（見込）額 _____ 円 又は 年間約 _____ ヶ月分	賞与「有」 ・平均支給月額 ④ × 12 + () = _____ 円 ・平均支給月額 ④ × () = _____ 円 ・平均支給月額 ④ × 16 = _____ 円 (大学で記入します) 賞与「無」 ・平均支給月額 ④ × 12 = _____ 円 (大学で記入します)
	<input type="checkbox"/> 無		
			年間支給見込額 _____ 円 (大学で記入します)

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

住所

会社名 印

連絡先 Tel - -

※ 退職した本人が記入すること。

富 山 大 学
授業料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号	氏 名
学 部 研究科/学環 教育部			

令和 年 月 日

退職金等に関する申立書

住所

氏名

(会社名等)

私は、 年 月 日に _____ を

退職しました。退職金及び失業給付金については下記のとおりです。

記

1. 退職金の支給状況について（該当する□に✓を付け必要事項を記入。）

- 退職金支給なし（理由 _____）
 退職金支給あり（必ず退職所得の源泉徴収票のコピーを添付。）

退職金支給額 _____ 円 「退職所得の源泉徴収票」の支給金額を記入。

退職金支給年月日 _____ 年 月 日

2. 失業給付金の受給状況について（該当する□に✓を付け必要事項を記入。）

- 失業給付金を受給していない。
理 由 雇用保険未加入
 受給資格を満たしていない
 その他（理由 _____）

失業給付金を受給している。（雇用保険受給資格者証のコピーを添付。）

①基本手当日額 _____ 円 ※雇用保険受給資格者証で確認の上記入。

②所定給付日数 _____ 日

③受給額（①×②） _____ 円

富 山 大 学
授業料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号						氏 名
学 部 研究科/学環 教育部								

令和 年 月 日

無 職 申 出 書

住所

氏名（原則自署）

代筆の場合は理由を明記（ ）

私は無職であることを申し出ます。
なお、所得課税証明書も併せて提出します。

※専業主婦（夫）や予備校生等も本書と所得課税証明書を提出する必要があります。

富 山 大 学
授業料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号					氏 名
学 部 研究科 / 学環 教育部							

令和 年 月 日

母子・父子世帯確認書

住所

母又は父
氏名

母子・父子世帯確認

該当する□に✓を付け必要事項を記入してください。

<input type="checkbox"/> 夫と [<input type="checkbox"/> 生別 <input type="checkbox"/> 死別] (年 月)		
<input type="checkbox"/> 妻と [<input type="checkbox"/> 生別 <input type="checkbox"/> 死別] (年 月)		
児童扶養手当の受給の有無 (特別児童扶養手当を含む)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 月額 年額 円× 12月= 円
親戚・知人からの援助の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 (続柄) 援助者氏名 月額 年額 円× 12月= 円
生別の場合	養育費の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 月額 年額 円× 12月= 円
死別の場合	遺族年金受給の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 1回当たりの支払額 年額 円× 回= 円

※申請者(学生)と同一生計の母又は父が記入してください。

※母子・父子控除については本学で確認して決定します。

富山大学	所属	学年	学籍番号				氏名
	学部 研究科/学環 教育部						

※兄弟姉妹等が国立学校に在学している場合、その所属学校で証明を受けること。

在学状況等証明書

国立学校授業料免除事務担当者 殿

申請者の
兄弟姉妹等 学校名 _____ 年次 _____
学生番号等 _____
氏名 _____

富山大学に在学する私の(続柄) _____ (氏名) _____ が授業料免除を申請するため必要ですので、下記事項について証明くださるようお願いいたします。

記

該当する□に✓を付け必要事項を記入してください。

1. 令和6年度在学状況

学校種別	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 高等専門学校	<input type="checkbox"/> 高等学校
	<input type="checkbox"/> 専修学校(専門課程)		
通学状況	<input type="checkbox"/> 自宅	<input type="checkbox"/> 自宅外	

2. 令和5年度授業料免除実施状況

前期	<input type="checkbox"/> 全額免除	<input type="checkbox"/> 半額免除	<input type="checkbox"/> 不許可	<input type="checkbox"/> 申請なし
	<input type="checkbox"/> 修学支援新制度による減免(/ 3免除)			
後期	<input type="checkbox"/> 全額免除	<input type="checkbox"/> 半額免除	<input type="checkbox"/> 不許可	<input type="checkbox"/> 申請なし
	<input type="checkbox"/> 修学支援新制度による減免(/ 3免除)			
	<input type="checkbox"/> 令和6年度入学者のため、該当しない。 ※ただし、大学院への学内進学者については、前期・後期の授業料免除状況を証明願います。			

※高等学校、高等専門学校等に在学する者のうち、就学支援金により前年度の授業料が減免されている場合は、「申請なし」に✓を付けてください。

免除前の年額

令和5年度授業料年額 _____ 円

上記のとおり証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学校名 _____

証明担当者 _____ (印)

電話番号 _____

※前期分申請では4月1日以降、後期分申請では10月1日以降に証明を受けたものを提出すること。

※この台紙には源泉徴収票・年金支払通知等のA4より小さな書類をはり付けること。用紙が不足する場合はA4の用紙を利用すること。

富 山 大 学
授業料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号	氏 名
学 部 研究科/学環 教育部			

授業料免除添付書類台紙

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付け)
------------	-------------------------

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付け)
------------	-------------------------

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付け)
------------	-------------------------

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付け)
------------	-------------------------